

会 議 録

会 議 録	令和 5 年度山陽小野田市介護給付適正化委員会
開 催 日 時	令和 6 年 3 月 2 6 日（火）午後 6 時 00 分～午後 7 時 20 分
開 催 場 所	山陽小野田市役所 3 階大会議室 B
出 席 者	学識経験者 滝川洋子 山口県作業療法士会 濱本尊博 特別養護老人ホーム長寿園園長 上村篤子 山口県訪問看護ステーション協議会 落合千賀子 山陽小野田市介護支援専門員連絡協議会 田原貞子
欠 席 者	なし
事務担当課 及び職員	福祉部長 吉岡忠司 福祉部次長兼高齢福祉課長 尾山貴子 高齢福祉課技監兼地域包括支援センター所長 荒川智美 高齢福祉課長補佐 竹内広明 高齢福祉課主査 篠原紀子 地域包括支援センター所長補佐 古谷直美 地域包括支援センター主任 末永久美
会 議 次 第	1 辞令交付 2 介護サービス給付費適正化事業及び介護給付費適正化委員会について（資料 1 参照） 3 令和 5 年度介護給付適正化会議の結果報告（資料 2 参照） 4 中国四国ブロック研修会報告（資料 3 参照） 5 令和 4 年度山陽小野田市介護給付適正化にかかる留意事項（参考資料参照） 6 意見聴取 7 その他
会 議 結 果	1 について 委員改選に伴う辞令交付を行った。 会長、副会長の選出について、会長には滝川委員、副会長には田原委員が承認された。 2 について 事務局より介護サービス給付費適正化事業及び介護給付費適正化委員会（資料 1）について説明を行った。 ○質疑 なし 3 について 事務局より令和 5 年度介護給付適正化会議の結果報告（資料 2）について説明を行った。

○質疑

委員 自己点検シートはケアプラン作成にかかる注意事項が一覧になっているので活用されるとよい。適正化会議で事例検討したときに、利用者の自立支援に向けたプラン作成や効果的にサービス提供するための具体的な助言はどのようにしているか。

事務局 本人目線で具体的で個別的な目標設定にしていくことを助言し、サービス提供者や家族目線の目標になっていたという気づきを促している。また、利用者のできること、できないことをケアプランで明確に示し、できないところを支援者と一緒に行ったり、利用者ができるように工夫したりするなど自立支援や意欲につながるような具体的なイメージにつながるように助言している。

委員 自己点検シートの使い方、記入の仕方について説明はされているのか。

事務局 ケアマネジャー連絡会で周知したときに記入の仕方については説明している。実際にケアプラン作成をしていることの振り返りとして活用してほしいと思っている。自己点検シートをつけることがケアマネジャーの負担にならないように今のところ、適正化会議の提出事例については自己点検シートをつけてもらい提出してもらっている。

委員 課題整理総括表を活用していて、課題の整理や振り返り、利用者の全体像を把握することに努めている。

委員 以前関わった難病のケースで実際に在宅生活で使っていない状況があった。自立度や活動量、歩行可能かどうかなどの視点で福祉用具の適正利用を図れるとよいと思う。マニュアルやシートなど「見える化」していくことが大切と思う。

事務局 軽度者の車いすやベッドの貸与について、起き上がりや寝返りができるかを判定し、関わる専門職の意見の協議書や担当者会議の記録を提出してもらい、必要があれば例外給付として認めることとしている。

委員 事例の選定はどのようにしているのか。事業所から挙げてくるのか。

事務局 給付実績をみながら事務局が選定している。福祉用具の複数貸与や状態とサービスがあっていないと思われるもの、有料老人ホーム利用者等を選定した。

委員 処遇困難ケースが事業所から挙げてくる場合はどうしているか。

事務局 地域ケア会議で対応している。

4について

事務局より中国四国ブロック研修会報告（資料3）について説明を行った。

委員 発表してどのような反応があったか。

事務局 厚生労働省や県の担当者からは、現場の実際の声を改めて新鮮な気持ちで聞くことができたという反応をいただいた。実際にたくさんの質問を受けた。

委員 自立支援を目標にしているが、機能を維持することが難しいケースもある。介護保険がスタートした当初は、家にあるものを工夫して使うなどの実態があったが、今はレンタルや購入に走りがち傾向がある。重度化防止の視点も大切であることを再認識し、認知症ケースの自立支援や家族の負担が軽減され、長く介護が続けられることも大切である。在宅での支援は、笑顔で生活しやすくしていくためのサービス利用も考えていくことが必要で、認知症の方の支援や老々介護の支援は現実となっている。

委員 本来は購入品になっているポータブルトイレも、便器に落とす品物だけ購入し、不要になれば返却できるという優良な事業所もある。

会長 福祉用具を使わずに生活することが自分のリハビリになるという声を聴き、学びになったこともあります。利用

	<p>者、家族に対して寄り添った支援になるよう取り組んでほしい。</p> <p>6 意見聴取 事務局からの説明についての質疑応答で意見聴取が図れたことを確認する。</p> <p>7 その他 なし</p> <p>－閉会、終了－</p>
--	--